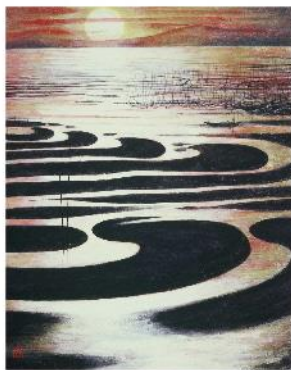


｜ 収蔵品展 ｜ ときを刻む絵

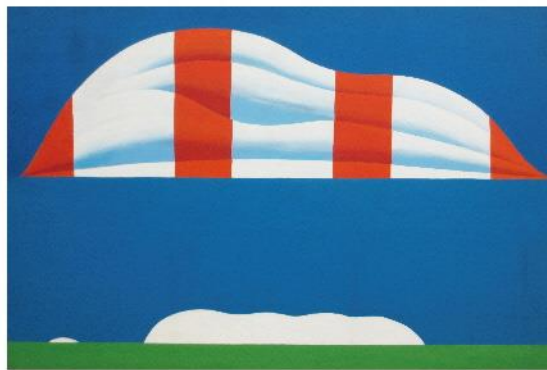
2020年は東京オリンピックの年です。開幕へのカウントダウンが進み、大会への期待が高まっています。アスリートが記録へ挑み、その姿がもたらす感動と興奮は人々の記憶に残ることでしょう。

多くの人が感動の瞬間を胸にとどめるように、キャンバスに向かう作家たちも日々の出来事や季節の移ろいに呼応した感情の機微を察し、自らの作品に時を刻んでいます。何気ない日常の中で心にふれた出来事や事物を題材にしている野田哲也の日記シリーズ、光と影の究極のバランスを求めてその瞬間を待ち続けた河野浅八のモノクロームの写真、元田敦海が描いた有明海の御興来海岸では干潮と夕日が重なる時にだけ見せる優美な砂地の曲線をとらえています。

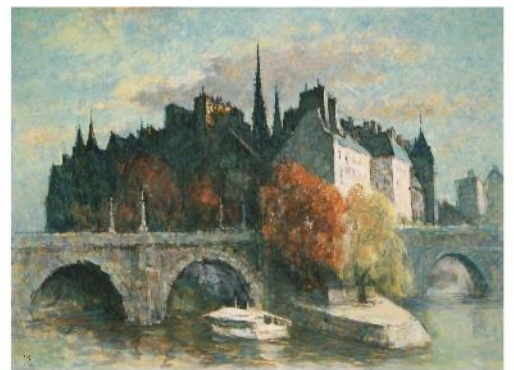
本展では、不知火美術館の収蔵品の中から「ときを刻む」をテーマに約60点を展示します。新春のひと時を当館の作品とともにゆっくりとお楽しみいただければ幸いです。



元田敦海《有明海の夕日》制作年不詳
岩絵具、紙



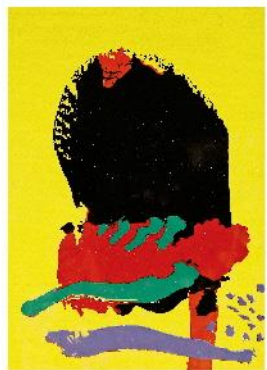
松本英一郎《満帆》1970年 油彩、キャンバス



西村義人《シテ島の朝》1969年 油彩、キャンバス



高野真光《史B》1966年
油彩、キャンバス



マナブ間部《日本の街・くまもと》
1994年 シルクスクリーン、紙



清原武則《秋昏》1950年 油彩、キャンバス



河野浅八《S For Spiral》年代不詳
ゼラチンシルバークリフト

美術館でアート初め

ワークショップ「ポスターを使ってアートバッグをつくろう」

使用済みのポスターでアートな紙のバッグを作ってみませんか。

日時：1月18日(土) 14:00~16:00

会場：不知火美術館アトリエ

定員：15名(小学生以上、事前予約不要) 参加費：無料

※リボンや紐などありましたら当日持参ください。



ギャラリートーク

日時：1月11日(土) 14:00~14:30

会場：展示会場

話し手：当館学芸員 ※参加には入館料が必要です。

宇城市不知火美術館

SHIRANUHI MUSEUM OF ART

〒869-0552 熊本県宇城市不知火町高良2352

TEL 0964-32-6222 FAX 0964-32-6223

<http://kumamoto-museum.net/shiranuhi/>

